

連携教室を活用した小中一貫教育の実践



連携教室で中学校教員の授業を受ける小学生

生が豊玉第二中学校に登校し、3校で作成した小中一貫教育プログラムに基づいて連携教室を活用した教育活動を展開します。具体的には中学校教員による乗り入れ授業や小中学生の交流授業、小学校同士の合同活動、小学校の学級担任による授業等を行っています。

現在改築を進めている開進第四中学校の新校舎にも、開進第四小学校、仲町小学校の児童が過ごすための連携教室を整備する予定です。

豊玉第二中学校、豊玉第二小学校、豊玉東小学校の3校は、平成23年度から小中一貫教育の研究・実践に取り組んでいます。平成26年11月に完成した豊玉第二中学校の新校舎には、小学生が中学校校舎で過ごすための連携教室が整備され、3校による小中一貫教育を推進するうえで重要な役割を担っています。
豊玉第二小学校、豊玉東小学校の5、6年

豊玉第二中学校
(連携教室)

【小中一貫教育プログラム】

小学校学級担任による授業
中学校教員による乗り入れ授業
小中学生の交流活動
小学校同士の合同活動 等

登校

豊玉第二小学校
5、6年生

豊玉東小学校
5、6年生

小中一貫教育校 大泉桜学園の取組

施設一体型小中一貫教育校 大泉桜学園では、1年生から9年生(中学3年生)までの9年間を見通した教育を実践しています。

1～4年生をⅠ期、5～7年生をⅡ期、8・9年生をⅢ期と位置付け、Ⅰ期のリーダーとなった4年生が委員会活動に取り組んだり、Ⅱ期の7年生が防災リーダーとして活動したりしています。

5・6年生は、7～9年生と同じ西校舎で50分授業を受けるとともに、同一学年の学級担任が社会と理科の授業を交換したり専科教員や講師が授業を担当したりして一部教科担任制を取り入れています。部活動や児童生徒会も5年生から参加します。

運動会や桜祭(音楽会)を全校で実施するなど、幅広い異学年交流を行うことにより、子供たちの自己肯定感を高めることができ、安定した学校生活につながっています。

昨年度からは、基礎的・基本的な学習内容の指導を充実するために、系統的で連続性のあるカリキュラムの研究を開始し、「さくらベーシック」としてまとめました。



7年生をリーダーとする避難拠点訓練



運動会で選手宣誓する子供たち

ねりまの 小中一貫教育



豊かな人間性・
社会性の育成

学力・体力
の向上

安定した
学校生活

ねりまの小中一貫教育は「授業改善による学力・体力の向上」「連携指導による豊かな人間性・社会性の育成」「滑らかな接続による安定した学校生活」の三つを通して、学習意欲や自己肯定感の向上、不登校の減少を目指しています。

小中一貫教育校および全ての小学校や中学校が9年間を見通した小中一貫教育に取り組むことで、子供たちの力を高めていきます。

練馬区教育委員会

小中一貫教育って どんなことを やっているの？

練馬区では、小学校と中学校が連携して学習指導や生活指導を行い、9年間を見通した指導方針のもとで子供たちを育てる小中一貫教育に取り組んでいます。

練馬区の小中学校で実践している小中一貫教育の取組を紹介します。

合同授業



小中学生が同じ班で話し合いながら学習しました。

読み聞かせ



中学生が小学生に本の読み聞かせをしました。

乗り入れ授業



小学生が中学校の教員から授業を受け、教科の学習をしました。

リトルティーチャー



授業や補習で、中学生が小学生の学習を補助しました。

Q1 小中一貫教育はどのように進めているのですか。

A1 小中一貫教育を進めるために、中学校1校と近隣の小学校1～3校で研究グループをつくり、9年間を見通した視点でカリキュラムを作成しています。どの小学校からどの中学校へ進学しても安定した学校生活が送れるよう、小中学校の接続に配慮した教育活動を実践しています。知的障害学級については、知的障害学級を設置している小学校16校と中学校8校を4つのブロックに分けて、指導方法の研究などを進めています。

行事への参加



中学校の合唱祭に小学生も参加して歌いました。

Q2 小中一貫教育を実践している小学校に入学すると、連携先の中学校に進学しなければならないのですか。

A2 通学区域の指定や学校選択制の利用により、連携先以外の中学校に進学することができます。

部活動体験



小学生が中学校の部活動を体験しました。

児童会・生徒会交流



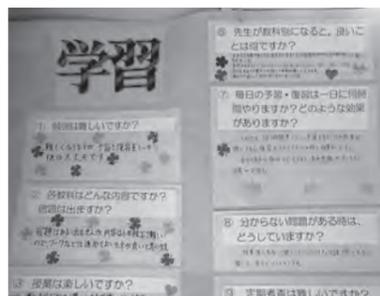
児童会・生徒会役員がいじめ防止について意見交換をしました。

あいさつ運動



中学生が小学校へ行って児童に朝の挨拶を呼びかけました。

手紙の交換



小学生からの質問に中学生が答えました。

Q3 小中一貫教育で同じグループとなっている連携先の中学校が指定中学校でない場合、学校選択制で優先的に入学できますか。

A3 小中一貫教育校大泉桜学園以外の中学校では、小中一貫教育を理由として優先的に入学できる仕組みはありません。

作品の交流



小中学生の作品を交換して互いの学校に展示しました。

特別支援学級の交流



小中学校の特別支援学級が一緒に校外学習に行きました。

小小連携



同じ中学校区の小学校2校と一緒に活動しました。

Q4 せっかく小中一貫教育を実践しても、連携先以外の中学校に進学したら意味がないのではないですか。

A4 連携先以外の中学校に進学する場合でも、区内全ての小学校と中学校で小中一貫教育を行い、9年間を見通した学習指導を受けたり、小学生と中学生が交流したりすることで、学習意欲の向上や自己肯定感の高まりにつながると考えています。

家庭学習の取組



小中学校が協力して、家庭学習の充実に向けて取り組みました。

理科実験実技研修



中学校教員が講師となり小学校教員に理科実験の研修を行いました。

小中教員研修会



小中学校教員と一緒に小中一貫教育カリキュラムの研究をしました。

Q5 中学校へ進学するとき、同じグループの小学校から進学する子供とそうでない小学校から進学する子供がいると、学習状況に差が生じてしまうのではないですか。

A5 各小学校の状況に応じた取組が行われますが、学習指導要領に準拠して小中一貫教育を進めますので、学習内容や進度に差は生じません。